

2019年広島マスターズ陸上記録会実施要項

1. 主催 広島マスターズ陸上競技連盟
2. 後援 (一財) 広島陸上競技協会 (公社) 日本マスターズ陸上競技連合 庄原市教育委員会
3. 主管 庄原市陸上競技協会 広島マスターズ陸上競技連盟
4. 陸連公認 日本陸連未公認大会
5. 期 日 2019年10月13日(日) 雨天決行
受付 8時 開始式 9時30分
競技開始 10時 競技終了予定 15時
6. 会 場 庄原市上野総合公園陸上競技場
727-0004 庄原市新庄町394 TEL0824-72-7201
7. 競技種目

トラック競技	60m, 100m, 200m, 400m 800m, 1500m, 3000m 110mH, 100mH, 80mH, 400mH, 300mH, 200mH
フィールド競技	走幅跳, 走高跳, 三段跳, 立五段跳 砲丸投, 円盤投, 槍投
8. 競技方法 年齢クラス(5才刻)を基に番組編成を行う。
試技数は、投てき競技5回、走幅跳・三段跳・立五段跳は4回とする
9. 競技規則 2019年度(一財)日本陸上競技連盟規則・(公社)日本マスターズ陸上競技連合規則及び広島マスターズ陸上記録会要項による。
10. 参加資格 2019年度(公社)日本マスターズ陸上競技連合の登録者とする
11. 参加種目 一人の参加できる種目数は制限しない
12. 参加料 (1) 1種目 1,000円、2種目 1,500円、3種目 2,000円
以後1種目につき500円を加算する
(2) 一日スポーツ傷害保険料を含む
(3) 受付後に参加申し込みの取り消しをしても一切返金しない
13. 申込方法 所定の用紙に必要事項を記入し、下記に申し込むこと。
※指定の郵便振替用紙は参加申し込み用紙になっています。
※所定の郵便振替用紙がない場合は、郵便局に備え付けの振替用紙に①～⑦を明記する
①記録会名 ②登録番号 ③名前(フリガナ) ④性別 ⑤生年月日(西暦)
⑥記録会当日の満年齢 ⑦出場種目

(1) 申込期限 2019年9月20日(金)(必着)

(2) 申込宛先 広島県庄原市総領町稲草2051-2
2019 広島マスターズ陸上記録会実行委員会 滝口和博
TEL・fax 0824-88-2284
携帯電話 090-4578-4288

(3) 送金方法 (振替用紙) 記号・加入者 01380-9-100836 広島マスターズ競技連盟

14. 競技順序（あくまでも予定です。参加者数によって変更があります）

※正式なタイムテーブル・スタートリストは広島マスターズHPに、9月末日ごろ掲載する予定です

トラック		跳躍	投てき
10:00	400H・300H・200H	10:00 走幅跳	10:00 砲丸投1組（～M60・女子）
10:30	3000m	10:50 走高跳	円盤投1組（M65～）
11:10	1000m	11:50 三段跳	11:00 砲丸投2組（M65～）
11:40	800m		円盤投2組（～M60・女子）
12:00	110H・100H・80H	12:30 立五段跳（～M55）	12:10 槍投1組（M60～）
12:40	60m	13:30 立五段跳（M60～・女子）	13:00 槍投2組（～M55・女子）
13:10	400m		
13:20	1500m		
13:40	200m		

15. 記録証 成績を競技場玄関に掲示し、競技者に記録証を発行する。また後日HPに掲載する。

16. 留意事項

- (1) 不正スタートは、1回目から該当の競技者を失格とする（2018年度から）。
- (2) 競技中の傷害等は、救急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 参加者・役員等を対象にスポーツ傷害保険に加入するが、健康保険証を持参する。
- (4) 参加選手は、競技規則及びマナーを順守し、競技役員・補助員への感謝の気持ちを持ち競技に臨む。
- (5) ゴミは各自で持ち帰ること。（「来た時よりも美しく」）

17. ナンバーカード 各自の登録ナンバーカードと安全ピンを持参し、胸背部に着用して競技に臨む。

18. 記録会への問合せ先

滝口和博 090-4578-4288 黒木 潤 090-9067-9629

19. 誓約事項…私は、次の4項目を、家族も含めて誓約し、大会に臨みます。

- 1) 健康管理に十分気を配り、大会要項並びに注意事項を厳守します。
- 2) 競技中に発生した傷害等は、応急処置を除き、自己責任で処理します。
- 3) 競技中の身体の急変により、審判長が競技中断の指示を出した場合は、これを受け入れます。
- 4) 大会の写真、記事、記録等の新聞及び広島マスターズHPへの掲載権は主催者に帰属することを了承します。

20. 会場までのアクセス

- (1) 庄原バスセンターから『ひまわりバス』市内巡回バス 100円
問い合わせ先 TEL 0824-72-2122 備北交通株
- (2) 庄原駅又は庄原バスセンターからタクシー
石田タクシー 0824-72-1181 中央タクシー 0824-72-1191 りぼんタクシー 0824-75-0133

21. 役員依頼…会員で、記録会に参加されない方へ

競技運営等のお手伝いをしていただける方は、瀧口・黒木へ連絡をください。

- ・ 部署は、受付係・記録証手交係、記録係です
- ・ 希望部署を連絡してください（上記以外でも可です）
- ・ 後日、委嘱ハガキを送ります。
- ・ 昼食・旅費は主催者が準備します

ご協力よろしく申し上げます。

競 技 者 注 意 事 項

1. 本大会は2019年度（一財）日本陸上競技連盟規則・（公社）日本マスターズ陸上競技連合規則、並びに本大会要領により、運営する。

2. 招 集

1) 競技に出場する者は招集完了時刻までに、招集所で次の順で手続きを行うこと。

①出場種目のスタートリスト（招集所に提示）に記載のレーン・試技順を○囲みする。

②トラック競技は、競技者係から「腰標識」（右腰に付着）を受け取る。

なお1500mと3000mでは、主催者の準備した「胸ナンバーカード」（胸部に付着）も併せて受け取る。

フィールド競技は、①の手続きのみでよい。

③手続きを終えた競技者は、トラック競技は競技開始10分前までにはスタート地点へ、フィールド競技は競技開始20分前までには競技場所へ、移動する。

④現地で、トラック競技は出発係の点呼を受け、フィールド競技は審判員の点呼を受け公式練習（2回）を行う。

2) 招集時間

トラック競技は、競技開始の30分前から招集を開始し、20分前に完了する。

フィールド競技は、競技開始の40分前から招集を開始し、30分前に完了する。

時間内に招集手続きを行わないと、競技への参加はできない。

なお2種目以上を同時に兼ねて出場する場合は、上記に関わらず競技開始90分前から行うことができる。

3) 召集場所 第4コーナー付近の用器具庫左横に設ける

3. 競技用具

1) 競技用具は主催者が用意したものを使用する。ただし個人所有の用具（砲丸・円盤・やり）を使用する場合は、その競技開始時間の1時間前に、審判員の検定を受け承認を得る。

2) ハードル走において、0.686mの高さは、本大会では0.700mのハードルを使用する。

3) スパイクピンは、トラック競技は全天候用7mm以下、フィールド競技は同9mm以下の平行ピンとする。

4. スタートは、イングリッシュ・コールを用いる

5. 不正スタートは、1回目から該当の競技者を失格とする（2018年度から）。

6. 試技数は、走幅跳・三段跳・立五段跳は4回・投てき競技は5回とする。

7. 走高跳のバーの上げ下げは、審判員の指示で行う。

8. 三段跳・立五段跳の踏切板は、原則として5m, 7m, 9m, 11mとする。競技者は、事前に踏切板の位置を審判員に申し出る。競技中の踏切位置の変更は原則としてできない。

9. 立五段跳の踏切は両足をそろえる。左右交互の脚で跳躍し、着地は両足をそろえる。

踏切前に、かかとを地面から離すと失格とする。（必ずかかとを地面に着けた状態で跳躍に入ること）

10. 練習は、審判員の指示に従うこと。原則として競技中は本競技場外を使用すること。

11. 競技記録について

1) 各種目（各クラス毎）の記録は、年令クラス別のマスターズ公認記録とする。

2) 追風2.0m/秒を超える記録は参考記録として扱い公認記録とにならない。

走幅跳・三段跳・立五段跳は、一番良い記録が追風参考の場合には、次に良い公認記録があれば、二つを併せて日本マスターズ陸上競技連盟に提出する。

3) 各種目の成績は競技場玄関に掲示するとともに、記録証を発行する。

4) 本大会は日本陸連未公認大会のため、記録は日本陸連の公認記録にはならない。

12. 競技者は、胸背部に必ずナンバーカードを付着する。

1) 各自の手元にある登録ナンバーカードと安全ピン8本を持参する。

2) トラック競技では、「腰標識」（主催者準備）を右腰に付着する。

3) 1500m, 3000mでは、2)に加え、主催者の準備した別「胸ナンバーカード」を付着する。

4) 跳躍競技では、胸部または背部のどちらかでもよい。

5) トラック競技で用いた「腰標識」「胸ナンバーカード」は、競技終了後に各自が招集所に返却する。

13. 競技中の事故について

1) 競技中に発生した時は、本部の医務員へ急報し応急処置を受けること。

2) 主催者は応急処置をするが、以後は一切責任を負わないので、各自で十分注意をする。

3) スポーツ傷害保険の手続き上、負傷者は事故発生時に大会本部に申し出る。（後日の申告は受け付けない）

14. ゴミは各自で持ち帰ること。（「来た時よりも美しく」）